

# 認定介護福祉士養成研修 開催要綱

領域：認定介護福祉士養成研修導入 科目：「認定介護福祉士概論」（ZOOM オンライン研修）  
内容：認定介護福祉士に求められる役割と実践力について等

## 1. 目的

利用者のニーズの多様化や高度化に対応する質の高い介護実践、介護職の指導・教育、医療職等との連携強化など、幅広い役割を担う介護福祉士が求められてきています。これからは、介護サービス利用者の増加に伴い、介護職としての能力や知識に幅のあるメンバーをチームリーダーとしてとりまとめ、サービスの質の改善のために教育・指導等の育成に取り組むことも重要になってきます。さらに、これからの地域包括ケアシステムの推進には、利用者寄り添う生活支援の専門職として、より広い視野をもった介護福祉士が必要になってきます。

介護福祉士には、資質向上の責務が課せられていることから、今後はさらに介護福祉士のキャリアパス実現に向けた取り組みが重要になってきます。そこで継続的な教育機会を提供し、介護福祉士の資質を高め、社会的な要請にこたえるために「認定介護福祉士養成研修」を実施します。

### 【認定介護福祉士のねらい】

- 1) 生活を支える専門職としての介護福祉士の資質を高める。
  - ①利用者のQOLの向上
  - ②介護と医療の連携強化と適切な役割分担の促進
  - ③地域包括ケアの推進 など
- 2) 介護の根拠を言語化して他職種に説明し共有したり、他職種からの情報や助言の内容を適切に介護職チーム内で共有することで、他職種との連携内容をより適切に介護サービスに反映することに寄与する。
- 3) 介護福祉士の資格取得後の継続的かつ広がりをもった現任研修の受講の促進と資質の向上を図る。つまり、介護福祉士の資格取得後も介護業界で努力し続け、継続的に自己研鑽する拠り所となる。
- 4) 介護福祉士の資格取得後のキャリアパスの形成

## 2. 主催 一般社団法人沖縄県介護福祉士会

3. 日時 令和5年11月4日（土）受付9：15～（招待メール送信） 講義9：30～16：30  
※スマートフォン及びタブレット（iPad）での受講はできません。パソコンの準備をお願いします。

## 4. 会場 ZOOM オンライン研修

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟4階 本会事務局

\* 県外の介護福祉士の方も受講可能です（別紙4参照）。

## 5. 受講対象者

(1) 次のア～ウのいずれをも満たしていること。

ア 介護福祉士資格取得後の実務経験5年以上（実務経験の考え方は介護福祉士国家試験の受験資格に準ずる）

イ 介護職員を対象とした現任研修の受講歴として、100時間以上の履歴を有していること。

ウ 当会の課すレポート課題又は受講試験において一定水準の成績を修めていること。ただし、認定介護福祉士認証・認定機構の定める研修を修了している場合は免除する（ファーストステップ研修等）。

(2) 次のエ又はオを満たすことが望ましいこと。

エ 介護職の小チーム（ユニット等、5～10名の介護職によるサービス提供チーム）のリーダー（ユニットリーダー、サービス提供責任者等）としての実務経験を有すること。

オ 居宅、居住（施設）系サービス双方での生活支援の経験があること。

## 6. 研修内容 別紙1「研修概要」参照

## 7. 講師

学校法人四国学院大学

香川県介護福祉士会会長

元日本介護福祉士会会長

元一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構 元副理事長

石橋 真二（いしばし しんじ）氏

8. 受講定員 20人（受講申込みが定員に達し次第、受付を締め切りさせていただきます。）

9. 受講料 会員 5,000円 非会員 10,000円（認証審査に係る申請手数料等含む）  
認証された科目については3年ごとに更新手数料（1科目約1,000円）を負担していただきます。

受講料については、受講予定日の1週間前までに下記の振込先口座にお振り込み下さい。

振込先 口座	<p>(1) 振込先金融機関：沖縄銀行 石嶺支店 (口座名義) (社) 沖縄県介護福祉士会 会長 垣花 秀美 (口座番号) 1448894 (振込手数料は各自でご負担下さい)</p> <p>(2) 振込先金融機関：ゆうちょ銀行 (加入者名) (社) 沖縄県介護福祉士会 (口座記号) 17030 (口座番号) 11842931 (振込手数料は各自でご負担下さい)</p> <p>* 他の金融機関から振り込みされる場合は、(店名) 七〇八 (読みナナ ゼロハチ)、(店番) 708、(口座番号) 1184293 となります。</p>
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

振り込み後の参加取り消しや欠席の場合、受講料の返金はできませんので予めご了承下さい。

10. 修了について 研修科目ごとに修了試験の実施や課題レポートの提出等があります。それぞれの研修科目において修了認定の評価に合格することが科目修了の要件となります。

### 11. 受講申し込み

別紙2「受講申込書」に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先へFAX又は郵送でお送り下さい。  
また、記入後の「受講申込書」をPDFデータに変換して、メールにて申し込むことも可能です。

### 12. 問い合わせ先

一般社団法人沖縄県介護福祉士会  
〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1 沖縄県総合福祉センター内西棟4階（事務局）  
電話 098-887-3344（平日13:00～17:00まで受付）FAX098-887-3391（24時間受付）  
E-mail: [okikaigo@gmail.com](mailto:okikaigo@gmail.com)

### 13. その他

\* 研修テキストについては、本会ホームページ内特設ページ「認定介護福祉士」よりダウンロードしてください。

\* 事前課題の作成に当たり本会ホームページ内特設ページ「認定介護福祉士」を確認して下さい。

\* 修了試験の詳細については研修当日に担当講師より説明があります。

\* 事前に本会事務局より受講予定者の方へ、受講対象者の要件について確認・照会する場合がありますので予めご了承ください。

\* 天候による諸事情（台風等）または新型コロナウイルス等の影響により本研修が中止あるいは延期される場合があります（研修開催直前の中止あるいは延期の可能性も含む）。

当該研修が延期された場合は改めて受講生の方々へ事務局より新しい日程等をご連絡致します。

## 【 研修概要 】

1. 認定介護福祉士の社会的使命と介護福祉士の専門性
  - 1) 認定介護福祉士養成研修の研修全体の流れの理解
  - 2) 介護をめぐる社会的動向（地域包括ケアシステムと医療・介護連携等）と介護福祉士の役割の変化
  - 3) 認定介護福祉士の求められる役割と実践力（根拠ある生活支援、介護職チーム運営、マネジメント、職種間連携、地域連携）
  - 4) 介護福祉の専門性への考察
2. 介護現場における様々な問題とその要因
  - 1) 職種間または組織間に起こりやすい問題
  - 2) 利用者への関わり方や介護観の相違により起きる問題
3. チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ
  - 1) チームを構成する職種間連携・各職種の役割・機能の理解
  - 2) チームケア・チームアプローチとは何か
  - 3) チームにおける介護福祉観・支援目標の共有化
  - 4) チーム内・職種間の調整
  - 5) チームメンバーとのコミュニケーション

## 【事前課題】

### 事前課題 No. 1

・2016年11月 認定介護福祉士認証・認定機構提言書「介護福祉士の職務の明確化と認定介護福祉士について」を読んで、認定介護福祉士設立経緯、仕組み、研修体系について事前学習を行う。

### 事前課題 No. 2

・自分の属する介護職チームの状況、そこに生じた組織的課題と、解決した事例についてA4用紙1枚（1200字）程度でまとめて持参する。研修資料として使用する。（現在組織で仕事をしていないものはこれまでの職場についてまとめること）

## ※ 事前課題の提出締切日

・令和5年10月27日（金） \* 事前課題の締切日を必ず厳守して下さい。

郵送の場合は締切日当日までの消印有効、Fax・メールの場合は締切日までの送信有効、

- \* 締切日までに事前課題の提出がない場合は当該研修科目の受講はできません。
- \* 締切日を超えて提出された事前課題は受け付けずそのまま受講生に返送します。
- \* 課題作成にあたっては時間的な余裕をもって取り組んで下さい。
- \* 課題用紙において指定様式は特にありません。Word データ等で作成して提出していただいても構いません。ただし本会指定様式の表紙を付けて提出して下さい。

## 【事後課題】

事前課題及び講義・演習の内容を踏まえ、認定介護福祉士としての自分の役割を十分に考えたうえで、①自職場において介護職チームが抱える課題にどのように取り組むか、②地域において認定介護福祉士としてどのような活動を行うべきかについて、それぞれ1200字程度でまとめる。

## ※ 事後課題の提出締切日

・令和5年12月11日（月） \* 事後課題の締切日を必ず厳守して下さい。

【 送信先 FAX 098-887-3391 】（送付状不要）

## 認定介護福祉士養成研修 受講申込書

領域：認定介護福祉士養成研修導入 科目：「認定介護福祉士概論」

内容：認定介護福祉士に求められる役割と実践力について等

申込科目名	認定介護福祉士概論		
ふりがな		男性・女性	【 昭和・平成 】 年 月 日生
氏名			
会員・非会員 ※いずれかに○をつけてください。	1. 会員（4700）⇒会員番号をご記入ください。 2. 非会員		
自宅	住所	〒	
	電話番号		
	FAX番号		
	携帯番号		
	パソコン メール アドレス		
勤務先	名称		職種
	住所	〒	
	電話番号		
介護福祉士 登録年月日	年 月 日	登録番号	第 一
介護福祉士ファーストステップ研修	修了 ・ 未修了		
介護福祉士基本研修	修了 ・ 未修了		

※受講申込書に記載された個人情報は、本研修の運営管理の目的にのみ使用させていただきます。

## 【認定介護福祉士養成研修の科目修了及び受講における留意事項について】

## [認定介護福祉士養成研修の修了要件]

- 全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分(遅刻、早退それぞれ 30 分)を上限として認める(この場合は事前課題とは別にレポート課題を課す)。
- 欠席の場合は修了を認めない。
- 事前課題・中間課題は、A～Dの4段階評価とし、D評価の場合は1度のみ再提出を認める。事前課題がD評価の場合は研修終了後一カ月以内に再提出する。その場合であっても修了試験を受けることは可能とするが、再度D評価となった場合は修了を認めない。なお事前課題・中間課題の提出が指定の期限内に行われない場合、修了を認めない。
- 修了試験は、A～Dの4段階評価とし、D評価の場合は1度のみ再提出を認める。修了試験がD評価の場合は評価結果が示されてから一カ月以内に再提出する。そこで再度D評価となった場合は修了を認めない。なお修了試験は、研修当日に実施する。

## [認定介護福祉士養成研修の修了評価（以下①～④の全てを満たすこと）]

- ①出席状況が修了要件を満たしていること。(全課程の出席。ただしやむを得ない事情による 30 分以内の遅刻、早退は認める。詳細は修了要件欄を参照。)
  - ②修了試験を受けていること
  - ③事前課題・中間課題・事後課題をすべて提出していること。
  - ④事前課題・中間課題・事後課題・修了試験の全ての評価においてA～Cであること。D評価の場合は1度のみ再提出を認め、C以上の評価を得なければならない。
- A: 85-100 B: 70-84 C: 60-69 D: 59 以下 (※D評価の場合未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。)

## [事前課題・中間課題・筆記試験・レポート試験における再提出の基準]

- ①文字数不足 (1,000 文字指定の場合おおむね 800 文字以上で提出すること)
- ②課題内容に沿っていない(単なる感想文であったり決意表明の文章ではないこと等)
- ③書かれている内容が著しく薄い(医療職等他職種の専門職が読んだときに書かれている内容が理解できない等)

## [受講における留意事項]

受講生本人または受講料を負担している自職場からの希望・要請がない限り、原則本会より再提出に対する指導・助言は行いません。介護福祉士国家資格者プラス介護福祉士基本研修を修了していることを今回の認定介護福祉士養成研修の受講要件としています。そのため厚生労働省が示している「介護福祉士資格取得時の到達目標（別紙「養成の目標」参照）」及び「介護過程が展開できる」レベルに受講生が達していることを前提として講義・演習を進めていきます。受講にあたり、「介護福祉士資格取得時の到達目標（別紙「養成の目標」参照）」及び「介護過程が展開できる」レベルに達していることをご確認のうえお申し込み下さい。

**【認定介護福祉士養成研修における県外受講生の受け入れについて】**

会員非会員を問わず、原則県外受講生の受け入れを認める。

受講要件は、開催要綱等に記載している通りとする（例えば「基本研修」修了生等）。

受講料は、開催要綱等に記載している金額とする。

科目ごとの更新手数料は1科目1,000円程度とする（3年ごとに請求する）。

対面研修で実施する科目については、沖縄県に来沖して受講する（来沖にかかる費用は受講生の自己負担とする）。

オンライン研修またはハイブリッドで実施する科目については、自職場等から受講する（パソコンによるオンライン環境を整備する）。

事前課題・中間課題・事後課題については、開催要綱等に記載している内容とする。

⇒科目により、本会が実施した「介護福祉士基本研修」・「ファーストステップ研修」・「認定介護福祉士養成研修」で取り組んだ課題を踏まえて、事前課題・中間課題・事後課題を課している場合がある。科目により、本会が実施した「介護福祉士基本研修」・「ファーストステップ研修」・「認定介護福祉士養成研修」の事前学習（当該科目以外のテキスト購入も含む）が求められる場合があることを、県外受講生が了解したうえで受け入れを認める。

科目認証後、受講生の希望により修了証を発行する。

令和5年1月28日（土）  
一般社団法人沖縄県介護福祉士会理事会承認